



# 世界のライフサイエンス企業との オンラインビジネスマッチングを支援します

～Biocom's Global Life Science Partnering Conference 参加企業募集～

横浜市は、ライフサイエンス産業における先進地域である米国サンディエゴ市と姉妹都市提携 60 周年を機に、ライフサイエンス分野を中心としたイノベーションによる相互の経済活性化を進めるため、平成 29 年 4 月に、バイオ関連業界団体である BIOCOM と覚書を締結しました。

毎年サンディエゴにて BIOCOM 主催で開催されている「バイオコムズ グローバル ライフ サイエンス パートナリング Biocom's Global Life Science Partnering カンファレンス Conference」が今回、新型コロナウイルス感染症の影響により、バーチャルで開催されます。同覚書に基づき、「LIP 横浜」会員におけるライフサイエンス分野の市内中小企業のビジネスマッチングのため、当カンファレンスのパートナーリングと企業プレゼンテーションに参加する企業を募集します。

なお、本市が BIOCOM 主催の本カンファレンスに企業の参加支援を行うのは初めてとなります。

## Biocom's Global Life Science Partnering Conference 概要

開催期間	令和3年2月23日(火)～2月25日(木) (米国サンディエゴ時間)
開催形式	バーチャル開催
主催	BIOCOM
使用言語	英語
公式 WEB ページ	<a href="https://biocomglobalpartnering.org/">https://biocomglobalpartnering.org/</a>
内容	・テレビ会議システムによるパートナーリング ・基調講演、パネルディスカッション等の視聴 ・企業プレゼンテーション (BIOCOM による審査や条件あり)

## 参加特典

1. 世界の大手製薬企業やバイオテック企業の幹部、VC (ベンチャーキャピタル) を含むライフサイエンス分野の企業が一同に集まるため、海外のシーズや技術の探索や、ビジネスマッチングを期待できます。
2. 企業プレゼンテーションに参加できます。  
※BIOCOM による審査や別途条件があります。
3. 参加決定企業は (公財) 木原記念横浜生命科学振興財団 (以下、「木原財団」という。) によるプレゼンテーションの作成支援やカンファレンス参加にあたる相談など、個別の伴走支援が受けられます。

## 募集要項

参加方法	ア <u>パートナーリング/企業プレゼンテーション参加</u> イ <u>パートナーリング参加のみ</u> (ア、イいずれか)
対象企業	ア <u>パートナーリング/企業プレゼンテーション参加</u> 横浜市内に事業所等がある、海外展開を目指すライフサイエンス分野（バイオテック、創薬、医療機器、ヘルスケアなど）の中小企業のうち、 <u>新技術を研究開発した中小企業</u> イ <u>パートナーリング参加のみ</u> 横浜市内に事業所等がある、海外展開を目指すライフサイエンス分野（バイオテック、創薬、医療機器、ヘルスケアなど）の中小企業
募集企業数	4社程度（募集状況によっては変更の可能性あり）
参加費用	無料（ただし、通信費など、カンファレンス参加にかかる間接的な費用については自己負担）
審査	書類審査（木原財団に委託）により、参加企業を決定します。 企業プレゼンテーションについては、別途 BIOCOM による書類審査があります。
申込方法	申込書に必要事項をご記入の上、下記のお問合せ先へ電子メールの添付ファイルとしてお送りください。
お問合せ先	横浜市経済局産業連携推進課 電話：045-671-3495 E-mail: ke-bio@city.yokohama.jp

※募集要項の詳しい内容や申込書については下記 WEB ページにてご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/lifescience/kaigai/biocom.html>



## スケジュール

	12月	1月	2月	3月
BIOCOM			● 本番	
木原財団		審査	伴走支援	フォローアップ
横浜市	募集期間	● 締切	● 決定通知	

12月18日（金）

募集開始

1月5日（火）

募集締切

1月8日（金）～1月下旬（予定）

書類審査

（木原財団及び BIOCOM による書類選考）

1月下旬（予定）

参加企業決定通知

2月23日（火）～2月25日（木）

カンファレンス本番（米国サンディエゴ時間）

次ページあり

## BIOCOMとは

サンディエゴで平成7年に設立された地域レベルで世界最大級のバイオ関連業界団体です。会員企業数は1,300以上。代表は会長兼CEO ジョゼフ・パネッタ氏。BIO展示会を主催する全米バイオ産業協会と密に連携し、サンディエゴのバイオクラスター<sup>※</sup>を対象にネットワーキング等を推進しています。

横浜市は平成29年4月7日に、米国サンディエゴ市との姉妹都市提携60周年を契機に、BIOCOMとライフサイエンス分野を中心としたイノベーションによる相互の経済活性化を進めるため、覚書を締結しました。

今回は、同覚書にある「両市で開催される展示会・商談会への参加・出展奨励」に伴い、BIOCOM主催の本カンファレンスへの参加支援に至りました。

(※)バイオテクノロジー関連の企業や研究機関が集中的に立地している地域。米国では、サンディエゴのほかに、サンフランシスコベイエリア、ボストンが有名。

### 【参考】横浜市とBIOCOMとの間で締結した覚書(日本語参考訳)

横浜市とBIOCOMは、横浜・サンディエゴ両市の姉妹都市提携60周年を機に、ライフサイエンス分野を中心としたイノベーションによる相互の経済活性化を進めるため、次の項目に同意します。

- 1 相互の企業、団体等の経済ミッションの派遣・受入、ネットワーキング等の実施
- 2 両市で開催される展示会・商談会への参加・出展奨励
- 3 相互の企業、大学、研究機関等による共同研究・プロジェクトの実施奨励
- 4 両市への企業の進出支援
- 5 その他、相互に有益なビジネス機会を創出するための情報交換、交流促進



## イノベーション都市・横浜について

横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい21地区の

研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP 横浜」と「LIP・横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。



### お問合せ先

「イベント・プログラム全般に関すること」 経済局産業連携推進課担当課長 石津 雄一郎 Tel : 045-671-3591  
「伴走支援に関すること」 (公財) 木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 菅原 真一郎 Tel : 045-502-4810

※本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。